

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	ベビーファンド	1. ダイワ外国債券先進国マザーファンドの受益証券 2. ダイワ外国債券新興国マザーファンドの受益証券
	ダイワ外国債券先進国マザーファンド	海外の債券
	ダイワ外国債券新興国マザーファンド	
ベビーファンドの運用方法	<p>①主としてマザーファンドの受益証券を通じて、海外の債券に分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。</p> <p>②各マザーファンドの受益証券の組入比率は、信託財産の純資産総額の50%を中心に、40%程度から60%程度の範囲内とします。組入比率の合計は、通常の状態 で信託財産の純資産総額の90%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>③各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で先進国通貨および新興国通貨の中からそれぞれ3通貨を選定し、基準となる通貨の配分（以下「基本通貨配分」といいます。）を定めます。実際の運用にあたっては、基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して通貨を配分します。</p> <p>※投資環境等が著しく変化した場合には、投資対象通貨、通貨数および基本通貨配分を変更する場合があります。</p> <p>④投資対象は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ダイワ外国債券先進国マザーファンドの株式組入上限比率 ダイワ外国債券新興国マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行いません。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ外国債券ファンド （毎月分配型） ーダイワスピリットー

運用報告書（全体版）

第108期	（決算日	2018年3月12日）
第109期	（決算日	2018年4月10日）
第110期	（決算日	2018年5月10日）
第111期	（決算日	2018年6月11日）
第112期	（決算日	2018年7月10日）
第113期	（決算日	2018年8月10日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）ーダイワスピリットー」は、このたび、第113期の決算を行ないました。

ここに、第108期～第113期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<4792>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		JPMorgan Global Diversified (円換算)		公社債 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%		%	%	%	百万円
84期末(2016年3月10日)	6,146	50	1.7	14,765	△ 2.7	16,277	3.6	92.1	△ 2.9	50,548
85期末(2016年4月11日)	5,931	50	△ 2.7	14,568	△ 1.3	16,136	△ 0.9	93.2	—	47,764
86期末(2016年5月10日)	5,837	50	△ 0.7	14,528	△ 0.3	16,165	0.2	94.0	—	46,256
87期末(2016年6月10日)	5,818	50	0.5	14,392	△ 0.9	16,300	0.8	93.8	—	45,544
88期末(2016年7月11日)	5,506	50	△ 4.5	13,617	△ 5.4	15,544	△ 4.6	95.2	—	42,708
89期末(2016年8月10日)	5,582	50	2.3	13,848	1.7	16,088	3.5	95.4	—	42,678
90期末(2016年9月12日)	5,471	50	△ 1.1	13,897	0.3	16,142	0.3	95.2	—	41,438
91期末(2016年10月11日)	5,494	50	1.3	13,857	△ 0.3	16,490	2.2	96.7	—	41,034
92期末(2016年11月10日)	5,439	30	△ 0.5	13,671	△ 1.3	16,269	△ 1.3	95.8	—	40,070
93期末(2016年12月12日)	5,657	30	4.6	14,545	6.4	17,088	5.0	95.8	—	40,641
94期末(2017年1月10日)	5,547	30	△ 1.4	14,754	1.4	17,296	1.2	96.4	△ 7.0	39,185
95期末(2017年2月10日)	5,588	30	1.3	14,411	△ 2.3	17,509	1.2	95.8	△ 6.9	38,791
96期末(2017年3月10日)	5,584	30	0.5	14,454	0.3	17,638	0.7	96.0	△ 7.0	38,303
97期末(2017年4月10日)	5,476	30	△ 1.4	14,183	△ 1.9	17,627	△ 0.1	87.7	—	37,052
98期末(2017年5月10日)	5,562	30	2.1	14,756	4.0	18,201	3.3	95.9	—	36,981
99期末(2017年6月12日)	5,598	30	1.2	14,673	△ 0.6	18,195	△ 0.0	96.2	—	36,381
100期末(2017年7月10日)	5,713	30	2.6	15,061	2.6	18,511	1.7	95.8	—	36,683
101期末(2017年8月10日)	5,623	30	△ 1.1	14,958	△ 0.7	18,426	△ 0.5	95.5	—	35,564
102期末(2017年9月11日)	5,687	30	1.7	14,977	0.1	18,838	2.2	96.4	—	35,445
103期末(2017年10月10日)	5,549	30	△ 1.9	15,248	1.8	18,888	0.3	97.0	—	34,008
104期末(2017年11月10日)	5,398	30	△ 2.2	15,408	1.0	18,734	△ 0.8	96.0	—	32,345
105期末(2017年12月11日)	5,413	30	0.8	15,534	0.8	19,059	1.7	96.1	—	31,747
106期末(2018年1月10日)	5,526	30	2.6	15,393	△ 0.9	19,552	2.6	95.4	—	31,927
107期末(2018年2月13日)	5,376	30	△ 2.2	14,943	△ 2.9	19,126	△ 2.2	95.6	—	30,713
108期末(2018年3月12日)	5,296	30	△ 0.9	14,789	△ 1.0	19,042	△ 0.4	95.9	—	29,985
109期末(2018年4月10日)	5,201	30	△ 1.2	14,968	1.2	18,974	△ 0.4	96.1	—	29,170
110期末(2018年5月10日)	5,071	30	△ 1.9	14,908	△ 0.4	18,496	△ 2.5	95.1	—	28,161
111期末(2018年6月11日)	4,872	30	△ 3.3	14,722	△ 1.2	17,917	△ 3.1	95.3	—	26,695
112期末(2018年7月10日)	4,890	30	1.0	15,062	2.3	18,106	1.1	95.1	—	26,429
113期末(2018年8月10日)	4,684	30	△ 3.6	14,903	△ 1.1	17,804	△ 1.7	96.2	—	24,999

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) JPMorgan Global Diversified(円換算)は、JPMorgan Government Bond Index-EMEA Market Cap Weighted(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan Government Bond Index-EMEA Market Cap Weighted(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

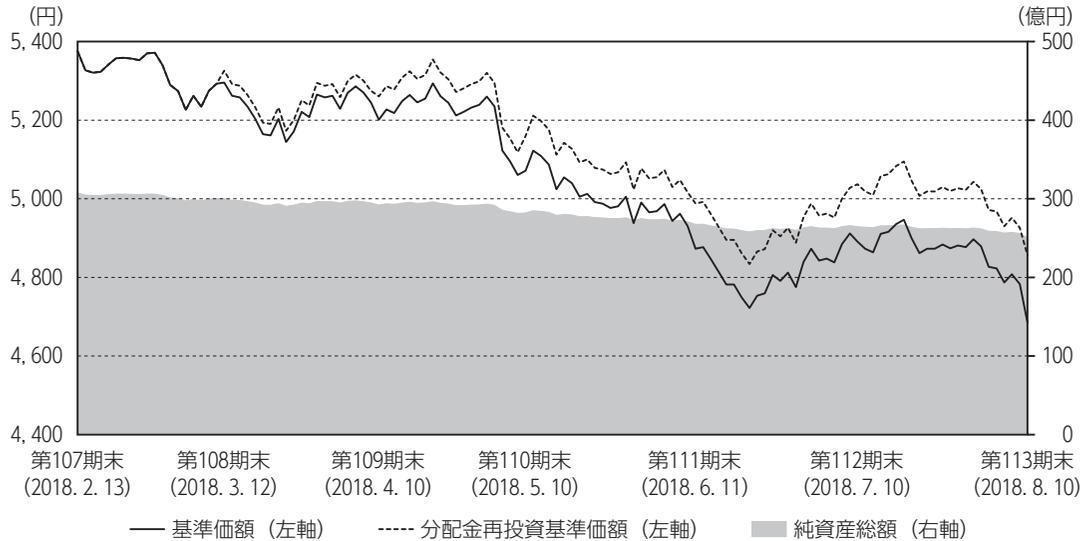
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客様の損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客様が利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第108期首：5,376円

第113期末：4,684円（既払分配金180円）

騰落率：△9.7%（分配金再投資ベース）

■ 組入ファンドの当作成期間中の騰落率と当期間末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	△0.4%	49.7%
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	△16.3%	49.8%

■ 基準価額の主な変動要因

各マザーファンドの受益証券を通じて、先進国および新興国の債券に投資した結果、投資している債券の利息収入は基準価額のプラス要因となりましたが、債券価格の下落や投資している通貨が対円で下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）－ダイワスピリット－

	年 月 日	基 準 価 額		FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		JPMorgan Global Diversified GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
		円	%	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第108期	(期首)2018年2月13日	5,376	—	14,943	—	19,126	—	95.6	—
	2月末	5,340	△ 0.7	14,793	△ 1.0	19,112	△ 0.1	95.6	—
	(期末)2018年3月12日	5,326	△ 0.9	14,789	△ 1.0	19,042	△ 0.4	95.9	—
第109期	(期首)2018年3月12日	5,296	—	14,789	—	19,042	—	95.9	—
	3月末	5,258	△ 0.7	14,881	0.6	19,040	△ 0.0	96.3	—
	(期末)2018年4月10日	5,231	△ 1.2	14,968	1.2	18,974	△ 0.4	96.1	—
第110期	(期首)2018年4月10日	5,201	—	14,968	—	18,974	—	96.1	—
	4月末	5,239	0.7	15,045	0.5	18,997	0.1	96.2	—
	(期末)2018年5月10日	5,101	△ 1.9	14,908	△ 0.4	18,496	△ 2.5	95.1	—
第111期	(期首)2018年5月10日	5,071	—	14,908	—	18,496	—	95.1	—
	5月末	4,990	△ 1.6	14,653	△ 1.7	17,979	△ 2.8	95.4	—
	(期末)2018年6月11日	4,902	△ 3.3	14,722	△ 1.2	17,917	△ 3.1	95.3	—
第112期	(期首)2018年6月11日	4,872	—	14,722	—	17,917	—	95.3	—
	6月末	4,838	△ 0.7	14,851	0.9	17,661	△ 1.4	94.4	—
	(期末)2018年7月10日	4,920	1.0	15,062	2.3	18,106	1.1	95.1	—
第113期	(期首)2018年7月10日	4,890	—	15,062	—	18,106	—	95.1	—
	7月末	4,876	△ 0.3	14,983	△ 0.5	18,200	0.5	95.1	—
	(期末)2018年8月10日	4,714	△ 3.6	14,903	△ 1.1	17,804	△ 1.7	96.2	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

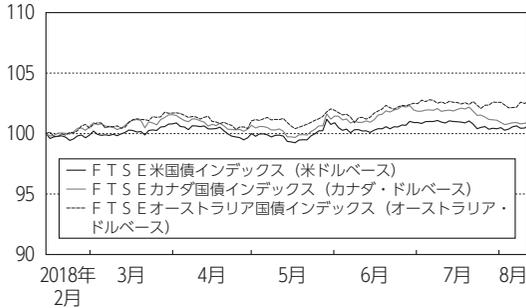
投資環境について

(2018. 2. 14 ~ 2018. 8. 10)

海外債券市況

・先進国

債券指数の推移



(指数は当作成期首を100として指数化しています。)

先進国債券の金利は、米国では上昇した一方、カナダではほぼ横ばい、オーストラリアでは低下しました。当作成期首より、米国が保護主義的な政策を相次いで打ち出したことを受けて市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから、長期年限を中心に金利は低下傾向となりました。2018年4月に入ると、米国と中国の貿易摩擦への懸念が後退し、市場のリスク選好度が強まったことなどから、金利は上昇傾向となりましたが、5月後半以降は、イタリアの政治情勢や米中貿易摩擦への懸念が高まったことなどから市場のリスク回避姿勢が強まり、金利は低下傾向となりました。7月後半からは、日銀が長期金利の上昇を容認するとの思惑が市場で広がる中、金利は上昇傾向となりました。

・新興国

債券指数の推移



— JPMorgan GBI-EMメキシコ (メキシコ・ペソベース)
 - JPMorgan GBI-EM南アフリカ (南アフリカ・ランドベース)
 ... JPMorgan GBI-EMトルコ (トルコ・リラベース)

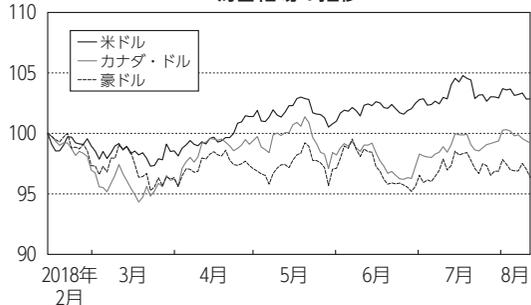
(指数は当作成期首を100として指数化しています。)

新興国債券市場では、米国の利上げ観測や、米国の保護貿易主義への懸念の高まりを受けて世界的なリスク回避の動きにつながったこと、また各国の個別要因が、相場を動かす材料となりました。トルコでは、通貨安によるインフレや中央銀行の独立性が懸念され、金利は上昇しました。メキシコでは、NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉や大統領選挙、議会選挙を巡る思惑に左右されつつも、当作成期間を通してみると横ばいでの推移となりました。南アフリカでは、与党ANC（アフリカ民族会議）の党首選挙で改革派のラマポーザ氏が勝利し、構造改革期待から大きく金利は低下する局面もありましたが、新興国からの資金流出懸念などを背景に、当作成期間を通してみると金利は上昇しました。

■為替相場

・先進国

為替相場の推移



(為替レートは対円で、当作成期首を100として指数化しています。)

先進国通貨の対円為替相場は、当作成期間を通して、米ドルは上昇し、カナダ・ドルはおおむね横ばいとなった一方で、豪ドルは下落しました。当作成期首より、米国が保護主義的な政策を相次いで打ち出す中で円は上昇傾向となりました。2018年4月以降は、米国の金利が上昇したことやそれまでの米ドル安の反動もあり、米ドルが上昇傾向となりました。またカナダでは、政策金利が引き上げられる中でカナダ・ドルも上昇傾向となりましたが、米ドルほどの上昇とはなりませんでした。一方、豪ドル円はおおむね横ばいでの推移となりました。

・新興国

為替相場の推移



(為替レートは対円で、当作成期首を100として指数化しています。)

新興国通貨の対円為替相場は、新興国からの資金流出懸念を受けつつ、各国の個別要因が相場を左右する主な材料となりました。トルコ・リラは、中央銀行の独立性への懸念などを背景に対円で下落しました。メキシコ・ペソは、NAFTA再交渉に対する懸念などを背景に下落する局面もありましたが、新政権への期待などを背景に当作成期間を通してみると対円で上昇しました。南アフリカ・ランドは、構造改革期待に支えられる局面もありましたが、新興国からの資金流出懸念などを背景に対円で下落しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

各マザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持します。

■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ポートフォリオについて

(2018. 2. 14 ~ 2018. 8. 10)

■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

当作成期間中のマザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持しました。

■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分（豪ドル50%、米ドル25%、カナダ・ドル25%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

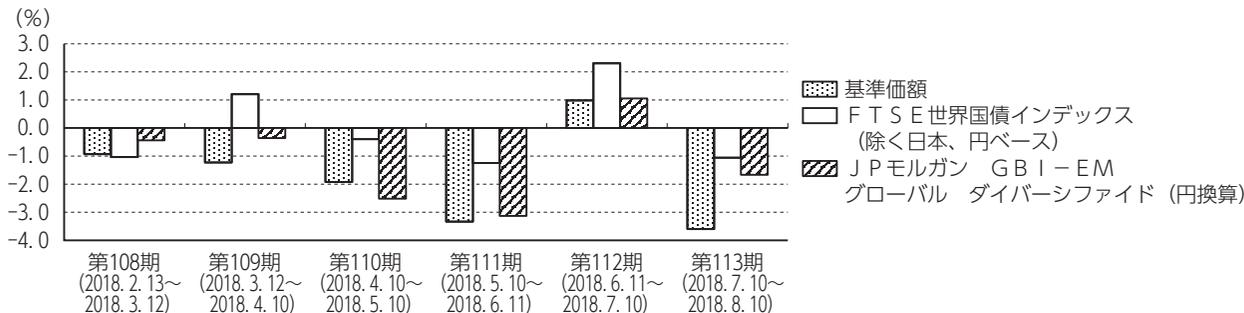
通貨配分につきましては、基本通貨配分（メキシコ・ペソ33.3%、トルコ・リラ33.3%、南アフリカ・ランド33.3%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債で運用を行ないました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第108期～第113期の1万口当り分配金（税込み）は、それぞれ30円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
	2018年2月14日 ～2018年3月12日	2018年3月13日 ～2018年4月10日	2018年4月11日 ～2018年5月10日	2018年5月11日 ～2018年6月11日	2018年6月12日 ～2018年7月10日	2018年7月11日 ～2018年8月10日
当期分配金（税込み）（円）	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率（%）	0.56	0.57	0.59	0.61	0.61	0.64
当期の収益（円）	18	19	20	21	22	20
当期の収益以外（円）	11	10	9	8	7	9
翌期繰越分配対象額（円）	227	216	207	198	190	180

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
(a) 経費控除後の配当等収益	18.63円	19.59円	20.52円	21.03円	22.20円	20.03円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	55.36	55.56	55.81	55.94	56.15	56.32
(d) 分配準備積立金	183.11	171.57	160.93	151.34	142.18	134.24
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	257.11	246.72	237.27	228.32	220.55	210.60
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	227.11	216.72	207.27	198.32	190.55	180.60

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

各マザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持します。

■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

1万口当りの費用の明細

項 目	第108期～第113期 (2018. 2. 14～2018. 8. 10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	35円	0. 684%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5, 071円です。
(投 信 会 社)	(15)	(0. 292)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(19)	(0. 372)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 020)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0. 033	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 026)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 003)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	36	0. 717	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）－ダイワスピリット－

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年2月14日から2018年8月10日まで)

決算期	第108期～第113期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	1,674	2,742	681,308	1,122,631
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	16,512	22,690	1,527,196	1,961,336

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期間（第108期～第113期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	第113期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	8,166,841	7,487,207	12,423,522
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	12,281,661	10,770,977	12,451,250

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年3月12日)、(2018年4月10日)、(2018年5月10日)、(2018年6月11日)、(2018年7月10日)、(2018年8月10日)現在

項 目	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末	第113期末
(A) 資産	30,253,298,549円	29,402,515,511円	28,382,413,867円	26,921,320,467円	26,647,717,833円	25,227,149,014円
コール・ローン等	340,974,671	341,830,945	337,028,189	327,514,800	315,544,558	314,451,896
ダイワ外国債券先進国マザーファンド（評価額）	13,373,494,437	13,216,174,189	12,999,095,035	12,509,692,419	12,514,866,901	12,423,522,973
ダイワ外国債券新興国マザーファンド（評価額）	16,470,529,255	15,812,308,228	15,022,968,123	14,056,463,563	13,789,970,001	12,451,250,476
未収入金	68,300,186	32,202,149	23,322,520	27,649,685	27,336,373	37,923,669
(B) 負債	267,826,627	232,176,300	221,281,362	225,483,402	218,170,269	228,058,981
未払収益分配金	169,842,637	168,271,244	166,589,410	164,399,334	162,141,162	160,106,970
未払解約金	66,388,210	30,726,369	20,510,770	26,381,304	25,921,781	35,674,914
未払信託報酬	31,438,889	32,851,603	33,672,976	34,004,904	29,238,863	31,230,505
その他未払費用	156,891	327,084	508,206	697,860	868,463	1,046,592
(C) 純資産総額（A－B）	29,985,471,922	29,170,339,211	28,161,132,505	26,695,837,065	26,429,547,564	24,999,090,033
元本	50,952,791,337	50,481,373,416	49,976,823,147	49,319,800,277	48,642,348,736	48,032,091,067
次期繰越損益金	△20,967,319,415	△21,311,034,205	△21,815,690,642	△22,623,963,212	△22,212,801,172	△23,033,001,034
(D) 受益権総口数	56,614,212,600□	56,090,414,911□	55,529,803,501□	54,799,778,089□	54,047,054,155□	53,368,990,078□
1万口当り基準価額（C/D）	5,296円	5,201円	5,071円	4,872円	4,890円	4,684円

* 第107期末における元本額は51,416,492,042円、当作成期間（第108期～第113期）中における追加設定元本額は370,793,898円、同解約元本額は3,755,194,873円です。

* 第113期末の計算口数当りの純資産額は4,684円です。

* 第113期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は23,033,001,034円です。

■投資信託財産の構成

2018年8月10日現在

項 目	第 113 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	12,423,522	49.2
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	12,451,250	49.4
コール・ローン等、その他	352,375	1.4
投資信託財産総額	25,227,149	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝110.92円、1カナダ・ドル＝85.02円、1オーストラリア・ドル＝81.77円、1トルコ・リラ＝19.92円、1メキシコ・ペソ＝5.93円、1南アフリカ・ランド＝8.11円です。

(注3) ダイワ外国債券先進国マザーファンドにおいて、第113期末における外貨建純資産（12,427,892千円）の投資信託財産総額（12,464,199千円）に対する比率は、99.7%です。ダイワ外国債券新興国マザーファンドにおいて、第113期末における外貨建純資産（12,381,133千円）の投資信託財産総額（12,540,897千円）に対する比率は、98.7%です。

■損益の状況

第108期 自 2018年 2月14日 至 2018年 3月12日 第110期 自 2018年 4月11日 至 2018年 5月10日 第112期 自 2018年 6月12日 至 2018年 7月10日
 第109期 自 2018年 3月13日 至 2018年 4月10日 第111期 自 2018年 5月11日 至 2018年 6月11日 第113期 自 2018年 7月11日 至 2018年 8月10日

項 目	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
(A) 配当等収益	△ 7,028円	△ 10,010円	△ 9,069円	△ 8,214円	△ 7,153円	△ 9,153円
受取利息	36	46	44	55	50	63
支払利息	△ 7,064	△ 10,056	△ 9,113	△ 8,269	△ 7,203	△ 9,216
(B) 有価証券売買損益	△ 249,266,249	△ 336,324,820	△ 517,386,740	△ 896,457,040	△ 292,225,495	△ 907,335,018
売買益	4,454,543	3,873,609	125,327,159	70,446,191	298,355,906	2,550,075
売買損	△ 253,720,792	△ 340,198,429	△ 642,713,899	△ 966,903,231	△ 6,130,411	△ 909,885,093
(C) 信託報酬等	△ 31,595,780	△ 33,021,796	△ 33,854,365	△ 34,195,484	△ 29,411,601	△ 31,413,006
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 280,869,057	△ 369,356,626	△ 551,250,174	△ 930,660,738	△ 262,806,741	△ 938,757,177
(E) 前期繰越損益金	△ 17,556,950,629	△ 17,822,642,988	△ 18,150,655,456	△ 18,605,927,525	△ 19,404,607,537	△ 19,040,626,976
(F) 追加信託差損益金	△ 2,959,657,092	△ 2,950,763,347	△ 2,947,195,602	△ 2,922,975,615	△ 2,908,859,214	△ 2,893,509,911
(配当等相当額)	(313,469,321)	(311,649,674)	(309,943,064)	(306,593,225)	(303,512,670)	(300,600,044)
(売買損益相当額)	(△ 3,273,126,413)	(△ 3,262,413,021)	(△ 3,257,138,666)	(△ 3,229,568,840)	(△ 3,212,371,884)	(△ 3,194,109,955)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 20,797,476,778	△ 21,142,762,961	△ 21,649,101,232	△ 22,459,563,878	△ 22,050,660,010	△ 22,872,894,064
(H) 収益分配金	△ 169,842,637	△ 168,271,244	△ 166,589,410	△ 164,399,334	△ 162,141,162	△ 160,106,970
次期繰越損益金 (G + H)	△ 20,967,319,415	△ 21,311,034,205	△ 21,815,690,642	△ 22,623,963,212	△ 22,212,801,172	△ 23,033,001,034
追加信託差損益金	△ 2,959,657,092	△ 2,950,763,347	△ 2,947,195,602	△ 2,922,975,615	△ 2,908,859,214	△ 2,893,509,911
(配当等相当額)	(313,469,321)	(311,649,674)	(309,943,064)	(306,593,225)	(303,512,670)	(300,600,044)
(売買損益相当額)	(△ 3,273,126,413)	(△ 3,262,413,021)	(△ 3,257,138,666)	(△ 3,229,568,840)	(△ 3,212,371,884)	(△ 3,194,109,955)
分配準備積立金	972,352,440	903,992,506	841,049,113	780,225,775	726,371,085	663,276,923
繰越損益金	△ 18,980,014,763	△ 19,264,263,364	△ 19,709,544,153	△ 20,481,213,372	△ 20,030,313,043	△ 20,802,768,046

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
(a) 経費控除後の配当等収益	105,477,187円	109,901,725円	113,966,714円	115,279,747円	120,024,124円	106,920,856円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	313,469,321	311,649,674	309,943,064	306,593,225	303,512,670	300,600,044
(d) 分配準備積立金	1,036,717,890	962,362,025	893,671,809	829,345,362	768,488,123	716,463,037
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,455,664,398	1,383,913,424	1,317,581,587	1,251,218,334	1,192,024,917	1,123,983,937
(f) 分配金	169,842,637	168,271,244	166,589,410	164,399,334	162,141,162	160,106,970
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,285,821,761	1,215,642,180	1,150,992,177	1,086,819,000	1,029,883,755	963,876,967
(h) 受益権総口数	56,614,212,600口	56,090,414,911口	55,529,803,501口	54,799,778,089口	54,047,054,155口	53,368,990,078口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
	30円	30円	30円	30円	30円	30円
(単 価)	(5, 296円)	(5, 201円)	(5, 071円)	(4, 872円)	(4, 890円)	(4, 684円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

FTSE 米国債インデックス（米ドルベース）、FTSE カナダ国債インデックス（カナダ・ドルベース）、FTSE オーストラリア国債インデックス（オーストラリア・ドルベース）は、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

運用報告書 第19期 (決算日 2018年8月10日)

(計算期間 2018年2月14日～2018年8月10日)

ダイワ外国債券先進国マザーファンドの第19期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
運用方法	①主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。 ②各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で先進国通貨の中から3通貨を選定し、基準となる通貨の配分（以下「基本通貨配分」といいます。）を定めます。実際の運用にあたっては、基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して通貨を配分します。 ※投資環境等が著しく変化した場合には、投資対象通貨、通貨数および基本通貨配分を変更する場合があります。 ③投資対象は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

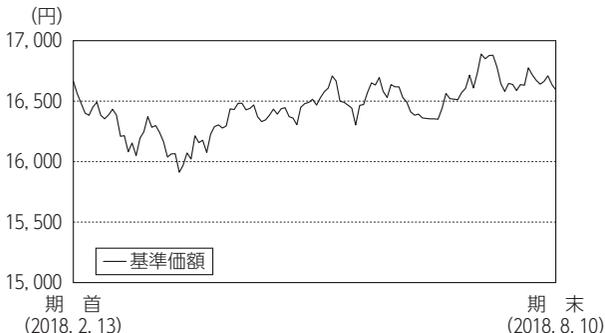
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準価額		FTSE 世界国債 インデックス (除く日本、円ベース)		公社債 債券 組入比率	
	円	騰落率 %	騰落率 (参考指数)	%	%	%
(期首) 2018年 2月13日	16,665	—	14,943	—	95.8	—
2月末	16,385	△ 1.7	14,793	△ 1.0	95.7	—
3月末	16,157	△ 3.0	14,881	△ 0.4	96.7	—
4月末	16,392	△ 1.6	15,045	0.7	97.5	—
5月末	16,465	△ 1.2	14,653	△ 1.9	95.7	—
6月末	16,441	△ 1.3	14,851	△ 0.6	96.2	—
7月末	16,631	△ 0.2	14,983	0.3	97.1	—
(期末) 2018年 8月10日	16,593	△ 0.4	14,903	△ 0.3	97.0	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。
- (注5) 債券先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：16,665円 期末：16,593円 騰落率：△0.4%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入が基準価額にプラス要因となった一方で、投資している通貨が円に対して下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○先進国債券市況

先進国債券の金利は、米国では上昇した一方、カナダではほぼ横ばい、オーストラリアでは低下しました。期首より、米国が保護主義的な政策を相次いで打ち出したことを受けて市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから、長期年限を中心に金利は低下傾向となりました。2018年4月に入ると、米国と中国の貿易摩擦への懸念が後退し、市場のリスク選好度が強まったことなどから、金利は上昇傾向となりましたが、5月後半以降は、イタリアの政治情勢や米中貿易摩擦への懸念が高まったことなどから市場のリスク回避姿勢が強まり、金利は低下傾向となりました。7月後半からは、日銀が長期金利の上昇を容認するとの思惑が市場で広がる中、金利は上昇傾向となりました。

○為替相場

先進国通貨の対円為替相場は、期を通して、米ドルは上昇し、カナダ・ドルはおおむね横ばいとなった一方で、豪ドルは下落しました。期首より、米国が保護主義的な政策を相次いで打ち出す中で円は上昇傾向となりました。2018年4月以降は、米国の金利が上昇したことやそれまでの米ドル安の反動もあり、米ドルが上昇傾向となりました。またカナダでは、政策金利が引き上げられる中で、カナダ・ドルも上昇傾向となりましたが、米ドルほどの上昇とはなりません。一方、豪ドル円はおおむね横ばいでの推移となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いません。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。通貨配分につきましては、基本通貨配分 (豪ドル50%、米ドル25%、カナダ・ドル25%) に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	3 (3)
(その他)	(0)
合 計	3

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2018年 2月14日から2018年 8月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	千アメリカ・ドル —	千アメリカ・ドル 1,978 (—)
		千カナダ・ドル —	千カナダ・ドル 3,009 (—)
	カナダ	8,033	4,432 (—)
		千オーストラリア・ドル 15,910	千オーストラリア・ドル 22,445 (—)
国	オーストラリア	特殊債券	

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子は含まれておりません）。

(注 2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年 2月14日から2018年 8月10日まで)

当 期		期 付	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄		銘 柄	
	千円		千円
QUEENSLAND TREASURY CORP. (オーストラリア) 3.25% 2026/7/21	541,444	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 2.8% 2021/1/13	457,309
INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK (国際機関) 4% 2023/5/22	523,230	INTL. FIN. CORP. (国際機関) 5.75% 2020/7/28	442,586
CANADA HOUSING TRUST (カナダ) 2.4% 2022/12/15	421,058	EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関) 2.8% 2021/1/15	416,159
CANADA HOUSING TRUST (カナダ) 2.9% 2024/6/15	256,567	CPPIB Capital Inc (カナダ) 1.4% 2020/6/4	377,473
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 3% 2026/10/19	243,613	BRITISH COLUMBIA (カナダ) 2.85% 2025/6/18	253,834
		QUEENSLAND TREASURY CORP. (オーストラリア) 3.25% 2026/7/21	249,604
		QUEENSLAND TREASURY CORP. (オーストラリア) 5.75% 2024/7/22	190,914
		United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2021/2/28	108,782
		United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.5% 2019/2/28	108,050
		KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU (ドイツ) 5.5% 2022/2/9	89,410

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子は含まれておりません）。

(注 2) 単位未満は切捨て。

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

■組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期			組入比率	うちB B格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		評 価 額		%			5年以上	2年以上	2年未満
		外貨建金額	邦貨換算金額						
アメリカ	千アメリカ・ドル 27,300	千アメリカ・ドル 27,112	千円 3,007,336	% 24.1	% —	% 16.9	% 5.0	% 2.2	
カナダ	千カナダ・ドル 36,500	千カナダ・ドル 36,366	3,091,861	24.8	—	13.2	9.6	2.0	
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 68,360	千オーストラリア・ドル 73,247	5,989,443	48.1	—	25.1	22.9	—	
合計	—	—	12,088,642	97.0	—	55.2	37.6	4.2	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.7500	2,500	2,488	276,041	2024/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.5000	2,500	2,489	276,149	2019/02/28
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	4,500	4,421	490,405	2021/02/28
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	6.1250	1,000	1,297	143,887	2029/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	3,800	3,601	399,430	2025/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.5000	2,000	1,783	197,852	2046/02/15
	BELGIUM GOVERNMENT BOND	国債証券	2.8750	10,000	9,838	1,091,308	2024/09/18
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	7.6250	1,000	1,192	132,262	2023/01/19
通貨小計	銘柄数 金 額	8銘柄		27,300	27,112	3,007,336	
カナダ	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.2500	2,000	1,991	169,315	2025/06/01
	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	1.0000	5,500	4,919	418,244	2027/06/01
	Province of Quebec Canada	地方債証券	4.2500	3,000	3,169	269,506	2021/12/01
	ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.5000	7,500	7,803	663,474	2024/06/02
	CPPIB Capital Inc	特殊債券	1.4000	3,000	2,953	251,119	2020/06/04
	CANADA HOUSING TRUST	特殊債券	2.4000	11,000	10,954	931,348	2022/12/15
	CANADA HOUSING TRUST	特殊債券	2.9000	4,500	4,573	388,852	2024/06/15
通貨小計	銘柄数 金 額	7銘柄		36,500	36,366	3,091,861	

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千オーストラリア・ドル	千円	
オーストラリア	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	4.2500	3,000	3,355	274,418	2026/04/21
	LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK	特殊債券	4.2500	10,000	10,675	872,960	2023/01/24
	LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK	特殊債券	2.7000	3,000	3,013	246,374	2022/09/05
	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特殊債券	5.5000	4,000	4,399	359,745	2022/02/09
	Airservices Australia	特殊債券	2.7500	2,860	2,844	232,627	2023/05/15
	WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP.	特殊債券	7.0000	2,000	2,263	185,122	2021/07/15
	QUEENSLAND TREASURY CORP.	特殊債券	5.7500	12,000	14,026	1,146,981	2024/07/22
	QUEENSLAND TREASURY CORP.	特殊債券	3.2500	17,500	17,890	1,462,900	2026/07/21
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	3.0000	3,000	2,994	244,873	2026/10/19
	ASIAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	5.0000	5,000	5,424	443,545	2022/03/09
	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	4.0000	6,000	6,358	519,895	2023/05/22
	通貨小計	銘柄数	11銘柄				
	金 額			68,360	73,247	5,989,443	
合 計	銘柄数	26銘柄					
	金 額					12,088,642	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年8月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	12,088,642	97.0
コール・ローン等、その他	375,556	3.0
投資信託財産総額	12,464,199	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝110.92円、1カナダ・ドル＝85.02円、1オーストラリア・ドル＝81.77円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(12,427,892千円)の投資信託財産総額(12,464,199千円)に対する比率は、99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年8月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	12,464,199,220円
コール・ローン等	130,097,955
公社債(評価額)	12,088,642,291
未収利息	88,849,032
前払費用	4,592,203
差入委託証拠金	152,017,739
(B) 負債	939
その他未払費用	939
(C) 純資産総額(A-B)	12,464,198,281
元本	7,511,628,083
次期繰越損益金	4,952,570,198
(D) 受益権総口数	7,511,628,083口
1万口当り基準価額(C/D)	16,593円

* 期首における元本額は8,187,884,022円、当期中における追加設定元本額は5,969,677円、同解約元本額は682,225,616円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ外国債券ファンド(毎月分配型)ーダイワスピリットー7,487,207,240円、ダイワ外国債券ファンド(年1回決算型)ーダイワスピリット(年1回)ー24,420,843円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は16,593円です。

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

■損益の状況

当期 自 2018年2月14日 至 2018年8月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	201,478,163円
受取利息	201,226,974
その他収益金	272,946
支払利息	△ 21,757
(B) 有価証券売買損益	△ 265,982,222
売買益	157,948,167
売買損	△ 423,930,389
(C) その他費用	△ 2,130,086
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 66,634,145
(E) 前期繰越損益金	5,457,255,964
(F) 解約差損益金	△ 441,900,777
(G) 追加信託差損益金	3,849,156
(H) 合計 (D + E + F + G)	4,952,570,198
次期繰越損益金 (H)	4,952,570,198

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

運用報告書 第19期 (決算日 2018年8月10日)

(計算期間 2018年2月14日～2018年8月10日)

ダイワ外国債券新興国マザーファンドの第19期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
運用方法	①主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で新興国通貨の中から3通貨を選定し、基準となる通貨の配分（以下「基本通貨配分」といいます。）を定めます。実際の運用にあたっては、基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して通貨を配分します。 ※投資環境等が著しく変化した場合には、投資対象通貨、通貨数および基本通貨配分を変更する場合があります。 ③投資対象は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

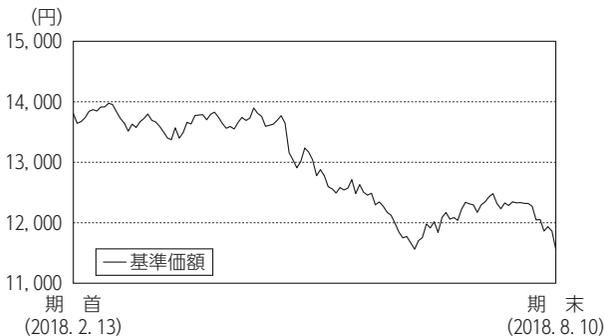
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	債券 先物比率
	円	%	(参考指数)	%		
(期首) 2018年2月13日	13,805	—	19,126	—	96.3	—
2月末	13,838	△ 0.2	19,112	△ 0.1	96.5	—
3月末	13,781	△ 0.2	19,040	△ 0.4	96.8	—
4月末	13,697	△ 0.8	18,997	△ 0.7	96.1	—
5月末	12,630	△ 8.5	17,979	△ 6.0	95.9	—
6月末	12,089	△ 12.4	17,661	△ 7.7	93.7	—
7月末	12,320	△ 10.8	18,200	△ 4.8	94.2	—
(期末) 2018年8月10日	11,560	△ 16.3	17,804	△ 6.9	96.3	—

- (注1) 騰落率は期首比。
 (注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
 (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
 (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。
 (注5) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
 期首：13,805円 期末：11,560円 騰落率：△16.3%
 【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入は基準価額のプラス要因となりましたが、債券価格の下落や投資している通貨が対円で下落したことがマイナス要因となり、基準価格は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○新興国債券市場

新興国債券市場では、米国の利上げ観測や、米国の保護貿易主義への懸念の高まりを受けて世界的なリスク回避の動きにつながったこと、また各国の個別要因が、相場を動かす材料となりました。トルコでは、通貨安によるインフレや中央銀行の独立性が懸念され、金利は上昇しました。メキシコでは、NAFTA(北米自由貿易協定)再交渉や大統領選挙、議会選挙を巡る思惑に左右されつつも、期を通してみると横ばいでの推移となりました。南アフリカでは、ラ党ANC(アフリカ民族会議)の党首選挙で改革派のラムボーズ氏が勝利し、構造改革期待から大きく金利は低下する局面もありましたが、新興国からの資金流出懸念などを背景に、期を通してみると金利は上昇しました。

○為替相場

新興国通貨の対円為替相場は、新興国からの資金流出懸念を受けつつ、各国の個別要因が相場を左右する主な材料となりました。トルコ・リラは、中央銀行の独立性への懸念などを背景に対円で下落しました。メキシコ・ペソは、NAFTA再交渉に対する懸念などを背景に下落する局面もありましたが、新政権への期待などを背景に期を通して対円で上昇しました。南アフリカ・ランドは、構造改革期待に支えられる局面もありましたが、新興国からの資金流出懸念などを背景に対円で下落しました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。通貨配分につきましては、基本通貨配分(メキシコ・ペソ33.3%、トルコ・リラ33.3%、南アフリカ・ランド33.3%)に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債で運用を行ないました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	5 (5)
(その他)	(1)
合 計	5

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2018年2月14日から2018年8月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
		千トルコ・リラ	千トルコ・リラ
外	トルコ	国債証券	— (32,276)
		特殊債券	— (19,528)
国	メキシコ	国債証券	— (千メキシコ・ペソ 280,402)
		特殊債券	— (9,853)
	南アフリカ	— (千南アフリカ・ランド 53,407)	— (千南アフリカ・ランド 91,709)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年2月14日から2018年8月10日まで)

当 期		期 付	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
Turkey Government Bond (トルコ) 10.4% 2019/3/27	521,245	Mexican Bonos (メキシコ) 6.5% 2021/6/10	569,247
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8% 2030/1/31	471,051	Mexican Bonos (メキシコ) 8.5% 2018/12/13	351,299
EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 20% 2019/10/16	388,997	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 10.5% 2026/12/21	322,558
Turkey Government Bond (トルコ) 10.4% 2024/3/20	345,708	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 6.25% 2036/3/31	243,177
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8.75% 2048/2/28	215,124
		Mexican Bonos (メキシコ) 4.75% 2018/6/14	173,916
		Mexican Bonos (メキシコ) 10% 2036/11/20	170,025
		Mexican Bonos (メキシコ) 10% 2024/12/5	155,647
		Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2042/11/13	140,604
		Mexican Bonos (メキシコ) 6.5% 2022/6/9	63,260

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

■組入資産明細表

(1) 外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちB B格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
トルコ	千トルコ・リラ 233,900	千トルコ・リラ 175,034	千円 3,486,681	% 27.9	% —	% 17.0	% 1.0	% 10.0
メキシコ	千メキシコ・ペソ 800,000	千メキシコ・ペソ 778,111	4,614,201	36.9	—	22.5	11.7	2.8
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 535,000	千南アフリカ・ランド 484,540	3,929,619	31.5	—	30.5	—	1.0
合計	—	—	12,030,502	96.3	—	69.9	12.7	13.8

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					額		
トルコ	Turkey Government Bond	国債証券	7.1000	千トルコ・リラ 2,000	千トルコ・リラ 1,214	千円 24,182	2023/03/08
	Turkey Government Bond	国債証券	8.8000	20,000	12,890	256,768	2023/09/27
	Turkey Government Bond	国債証券	8.8000	18,000	17,555	349,703	2018/11/14
	Turkey Government Bond	国債証券	10.4000	27,000	25,515	508,258	2019/03/27
	Turkey Government Bond	国債証券	10.4000	54,000	37,297	742,972	2024/03/20
	Turkey Government Bond	国債証券	8.0000	32,900	19,805	394,531	2025/03/12
	Turkey Government Bond	国債証券	10.7000	6,000	4,752	94,659	2021/02/17
	Turkey Government Bond	国債証券	10.6000	30,000	20,160	401,587	2026/02/11
	Turkey Government Bond	国債証券	11.0000	24,000	16,128	321,269	2027/02/24
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	20.0000	20,000	19,716	392,746	2019/10/16
	通貨小計	銘柄数 金 額	10銘柄		233,900	175,034	3,486,681
メキシコ	Mexican Bonos	国債証券	10.0000	千メキシコ・ペソ 20,000	千メキシコ・ペソ 22,379	132,707	2024/12/05
	Mexican Bonos	国債証券	10.0000	50,000	60,513	358,842	2036/11/20
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	15,000	14,965	88,742	2031/05/29
	Mexican Bonos	国債証券	6.5000	39,000	37,559	222,726	2022/06/09
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	246,000	243,212	1,442,252	2042/11/13
	Petroleos Mexicanos	特殊債券	7.6500	200,000	190,196	1,127,862	2021/11/24
	Petroleos Mexicanos	特殊債券	7.1900	150,000	132,289	784,476	2024/09/12
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT INTL. FIN. CORP.	特殊債券 特殊債券	5.2500 6.0000	60,000 20,000	58,234 18,762	345,332 111,258	2019/10/17 2022/07/25
通貨小計	銘柄数 金 額	9銘柄		800,000	778,111	4,614,201	

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	末 評 価 額			償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額		邦 貨 換 算 金 額	
					千 南 ア フ リ カ ・ ラ ン ド	千 南 ア フ リ カ ・ ラ ン ド		
南アフリカ	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	10.5000	86,000	95,012	770,553	2026/12/21	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.2500	69,000	50,683	411,041	2036/03/31	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.5000	40,000	28,822	233,746	2041/02/28	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7.0000	50,000	42,022	340,798	2031/02/28	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.7500	55,000	50,566	410,093	2048/02/28	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.5000	160,000	146,984	1,192,040	2037/01/31	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.0000	55,000	50,781	411,837	2030/01/31	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.7500	5,000	4,610	37,389	2044/01/31	
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	9.0000	15,000	15,057	122,118	2018/12/21	
通貨小計	銘柄数	9銘柄						
	金 額			535,000	484,540	3,929,619		
合 計	銘柄数	28銘柄						
	金 額					12,030,502		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年8月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	12,030,502 千円	95.9 %
コール・ローン等、その他	510,395	4.1
投資信託財産総額	12,540,897	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=110.92円、1トルコ・リラ=19.92円、1メキシコ・ペソ=5.93円、1南アフリカ・ランド=8.11円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(12,381,133千円)の投資信託財産総額(12,540,897千円)に対する比率は、98.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年8月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	12,630,132,791円
コール・ローン等	184,716,483
公社債(評価額)	12,030,502,000
未収入金	89,235,000
未取利息	313,904,638
前払費用	11,774,670
(B) 負債	140,127,548
未払金	102,192,500
未払解約金	37,923,669
その他未払費用	11,379
(C) 純資産総額(A-B)	12,490,005,243
元本	10,804,525,981
次期繰越損益金	1,685,479,262
(D) 受益権総口数	10,804,525,981口
1万口当り基準価額(C/D)	11,560円

* 期首における元本額は12,313,648,520円、当期中における追加設定元本額は20,464,285円、同解約元本額は1,529,586,824円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ外国債券ファンド(毎月分配型)ーダイワスピリットー10,770,977,921円、ダイワ外国債券ファンド(年1回決算型)ーダイワスピリット(年1回)ー33,548,060円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,560円です。

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

■損益の状況

当期 自 2018年2月14日 至 2018年8月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	596,206,893円
受取利息	596,277,290
支払利息	△ 70,397
(B) 有価証券売買損益	△ 3,162,609,515
売買益	129,764,657
売買損	△ 3,292,374,172
(C) その他費用	△ 6,284,279
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 2,572,686,901
(E) 前期繰越損益金	4,685,430,053
(F) 解約差損益金	△ 434,623,777
(G) 追加信託差損益金	7,359,887
(H) 合計 (D + E + F + G)	1,685,479,262
次期繰越損益金 (H)	1,685,479,262

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。